

令和6年度(2024年度)

肥後っ子いきいき読書環境づくり事業講座

「みんなで楽しもう！紙しばいの世界」



主催 熊本県立図書館

期日 令和7年(2024年)2月3日(月)

午後1時30分～午後4時まで

会場 熊本県立図書館 3階大研修室

講師 宮原 真理 氏 (株式会社 童心社)

参加者 71人

対象 公共図書館、幼稚園・保育園職員、子育て支援センター職員、
おはなしボランティア、文庫関係者など

講演「みんなで楽しもう！紙しばいの世界」

講座は、紙芝居『おふねがぎっちらこ』の実演から始まりました。紙芝居舞台と画面を使って鳴らされるリズムカルな音と、宮原先生の優しい歌声が会場をいっきに「おはなしの世界」に引き込んでいきました。

講演は、紙芝居の歴史から始まり、紙芝居には絵本とは違い、必ず演じる人と観る人が必要で、双方が一緒に楽しむことでコミュニケーションが生まれることなど、「絵本」と「紙芝居」の違いを分かりやすくお話しいただきました。

また、紙芝居舞台を使う理由や効果、舞台を使った紙芝居を演じるコツなどを、たくさんの紙芝居の実演をまじえながらお話しいただきました。

後半には受講者から選ばれた3名の方に、前に出て紙芝居の実演をしていただきました。3名とも急な指名で緊張されていましたが、みなさんととても上手に演じられ、大きな拍手が起こっていました。

今回の講座は、数々の紙芝居の実演を通して会場全体の気持ちがひとつになっていき、講師も受講者も笑い声の溢れる温かい雰囲気の中で講座が進んでいったことが印象的でした。紙芝居は演じ手と聞き手が向かい合って、みんなでドキドキ・ハラハラ・ワクワクしながら、「同じ気持ちを共有することができるもの」と講演で学んだことを、そのまま体感するような講座となりました。



【紙芝居舞台を使う理由】

- ①場面が安定し子どもたちの視点が定まる
- ②おはなしの世界がくっきりと浮かび上がる



集中を高める場づくり
・環境づくりができる

【紙芝居を「演じる」コツ】

- ①必ず下読みを行う(脚本の演出ポイントも確認する)
- ②演じ手は舞台のななめ後ろか横に立つ(お互いの顔が見える場所)
- ③過剰な声色は使わなくていい
- ④画面を抜くときは、左手を添えて画面を軽く押さえ、右手で抜く
- ⑤画面を差し込んだ後の「間」をしっかり取る(絵の情報を処理する時間を作る)
- ⑥最後は表紙に戻らずに扉を閉める

参加者の感想(アンケートより一部抜粋)

- 紙芝居の演じ方以外にも、絵本との相違点や歴史等も知ることができ、大変勉強になりました。紙芝居の講座を聞くことが初めてだったので、体系立てたお話を聞くことができてよかったです。(公共図書館職員)
- 紙芝居舞台を使用することの重要性、作家さんの紙芝居に対する表現への思いなど、ふだん聞けない話を聞いた。画面の引き方、差し込み方についてもわかった。(公共図書館職員)
- 紙芝居の演じ方がよくわからず、あまり活用してこなかった。今後使ってみたいと思いました。(公共図書館職員)
- 今後は、紙芝居をお話会の導入などにも活用して、「場作り」に活かしたいと思いました。(公共図書館職員)
- 実演を見せていただき、大変参考になりました。最近、絵本を用いることが多く、今回実際に紙芝居を見て舞台を用いる良さを感じました。園でも用いていけたら、より紙芝居の世界を楽しめるだろうなと思いました。とてもよい講座で参加できて良かったです。(保育所職員)
- いつも普通に読んでいた紙芝居を、改めて考えなおすよい機会でした。読み方や演出も考えつつ、下読みをきちんとし、おはなし大好きな子どもたちに育てていきたいです。(保育所)
- 舞台を使用することで、子どもたちのワクワクする気持ちや、話を聞こうとする力や用意、環境が整うことが良く分かった。紙芝居の良さとして「みんなで同じ気持ちを共有すること」や「言葉が分かりやすい」「今に集中することができる」などたくさん学べた。人と一緒にいることの楽しさが肌で感じとれると思った。演じ方のポイントも勉強になった。参加型や物語型など読むリズムや抜き方、ゆったりした空気間を出すことなどとても勉強になった。(保育所職員)
- 自己流で演じていたが、大切なポイントやコツがわかり、今後の活動が実り多いものになる予感がします。(ボランティア)
- 紙芝居舞台の重要性を感じていなかったのが、良さを知ることができてよかったです。(ボランティア)
- 「物語を子どもたちに届ける」が一番心に残りました。読んでもらう嬉しさ、楽しさを改めて感じました。(ボランティア)

講座で紹介された紙芝居

- 🏠『おふねが ぎっちらこ』 さいとう のぶ／脚本・絵 童心社 2023.6 12場面
- 🏠『おかあさんの はなし』
稲庭 桂子／脚本 いわさき ちひろ／画 アンデルセン／原作 童心社 1988 16場面
- 🏠『おおきく おおきく おおきくなあれ』 まつい のりこ／脚本・画 童心社 1983.4 8場面
- 🏠『ごきげんのわるいコックさん』 まつい のりこ／脚本・絵 童心社 1985.6 12場面
- 🏠『どうぶつえん』 桂 文我／脚本 加藤 休ミ／絵 童心社 2022.7 12場面
- 🏠『てんから おだんご』
高橋 五山／原作 堀尾 青史／脚本 金沢 佑光／画 童心社 2000.5 12場面
- 🏠『はーい！』 間所 ひさこ／脚本 山本 祐司／絵 童心社 2006.9 8場面
- 🏠『きたかぜと たいよう』
イソップ／[原作] こが ようこ／脚本 長谷川 義史／絵 童心社 2022.7 8場面
- 🏠『うみの どうぶつ どっちが どっち？』
キム ファン／脚本 ミヤザー ナツ／絵 童心社 2024.6 12場面
- 🏠『はるるちゃんのはるがきた！』
こが ようこ／脚本 とよた かずひこ／絵 童心社 2023.7 8場面
- 🏠『はるだよ おきて』 千世 繭子／脚本 あべ 弘史／絵 童心社 2014.4 8場面
- 🏠『カヤネズミの おかあさん』
キム ファン／脚本 福田 岩緒／絵 童心社 2015.8 12場面
- 🏠『じごくの そうべえ』 田島 征彦／脚本・絵 童心社 2024.10 12場面
- 🏠『さよなら あんころもち またきなこ』
こが ようこ／脚本 ひろかわ さえこ／絵 童心社 2025.3 12場面

講座で紹介された絵本

- 📖『おいしいの ぼうけん』 ふるた たるひ／さく たばた せいいち／画 童心社 1974
- 📖『いない いない ばあ』 松谷 みよ子／文 瀬川 康男／絵 童心社 1980
- 📖『14ひきの さむい ふゆ』 いわむら かずお／さく 童心社 1985